

多可町教育委員会要旨録

平成28年10月定例会

1. 開催日 平成28年10月27日(木) 午後1時30分～

2. 場所 多可町教育委員会 会議室

3. 出席者

委員長	門脇	きみ子
委員	熊田	正博
委員	数原	誠子
委員	藤田	裕子
教育長	岸原	章

4. 陪席者

教育総務課長	今中	明
学校教育課長	谷尾	秀伸
こども未来課長	今中	孝介
教育総務課副課長	宮原	文隆
こども未来課副課長	市位	孝好
学校教育課指導主事	神崎	進吾
教育総務課主査	伊藤	加奈子

5. 議案

承認第3号 就学援助規則準要保護の承認について

議案第27号 多可町ハートフル学業支援金給付条例の一部を改正する条例について

議案第28号 多可町保育料階層区分認定取扱要領の一部を改正する告示について

議案第29号 多可町学童保育事業実施要綱の一部を改正する告示について

議案第30号 就学援助規則準要保護の認定について

6. 協議

(1) 平成28年度 全国学力・学習状況調査について

(2) 第2回総合教育会議について

7. 報告事項

(1) 各種委員会の報告

(2) 教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

①教育総務課関係事業の実施状況について

②9月補正予算について

③多可町学校給食センター調理等業務委託の経過について

■10月29日(土)

第3回学校給食センター調理等業務委託業者選定委員会において、プロポーザル
審査予定

④平成28年度 播磨東教育長会・播磨東地区教育委員会連合会合同研修会について

日 時：11月28日(月)午後2時～

場 所：三木市立教育センター

研修内容：講演 京都ノートルダム女子大学

学長 芹田 健太郎 氏

演題：「グローバル人材の育成について」(予定)

⑤9月定例教育委員会要旨録について

【学校教育課】

①平成28年度 多可郡中学校新人体育大会について

②11月の行事予定について

【こども未来課】

①保育士の募集について

②11月の行事予定について

(3) 次回教育委員会について(案)

平成28年11月24日(木)午後1時30分～

(4) その他

閉 会

【開 会】

委員長あいさつ

日程第1 会議録署名委員の指名

門脇委員長と数原委員を指名

日程第2 教育長の報告

(1) 友好姉妹都市、村田町との教育交流について

- 10月17日、18日、高橋教育長と小林教育総務課長、管生地域産業推進課長、渡辺企画財政課長の4人が多可町を訪問。町長への挨拶、多可町の概要を紹介した後、杉原紙研究所、那珂ふれあい館、ベルディーホール、敬老の日発祥の町の碑のある八千代プラザ、まちの駅等を見学していただきました。また、高橋教育長と小林課長には、キッズかみ、八千代小学校、加美中学校、給食センターを訪問していただき、教育委員会で意見交換をいたしました。
- 今後、子どもたちの交流を行っていくことを確認をいたしました。大変良い交流ができました。今後、一層交流を深めていき、互いに学び合いたいと思います。

(2) 9月議会について

- 9月5日から始まった9月議会が、10月13日に閉会いたしました。9月29日、30日の一般質問では、5人の議員さんから教育委員会に対して、7つの質問がありました。
 - ・山口議員 小中学校における色覚検査の現状について
 - ・橋尾議員 小中一貫教育の早期実施について
多可町として播磨風土記をもっと研究すべきでは
 - ・安田議員 職員及び重要書類や備品の管理監督は、どのようにしているか
 - ・日原議員 コミュニティ・スクールの推進について
 - ・草別議員 学校給食センター調理業務の民間委託について
キッズランドの民間委託について

(3) 校長及び所長の目標管理ヒアリングについて

- 10月5日、7日、13日に、キッズランドの所長、小中学校の校長と今年度の目標管理ヒアリングを実施いたしました。平成28年度も半分過ぎました。上半期の活動を終え、今年度計画していることが順調に推進できているかについてヒアリングを行いました。計画通りに進んでいる事柄や、計画より遅れている事柄などについて報告を受けました。早急に後半の追い込みに入るように指導助言をいたしました。

以上3点、報告いたします。

日程第3 議案

承認第3号 就学援助規則準要保護の承認について

議案第30号 就学援助規則準要保護の認定について

*個人情報が含まれているため、委員会閉会後の非公開会議で検討

議案第27号 多可町ハートフル学業支援金給付条例の一部を改正する条例について

「多可町ハートフル学業支援金給付条例の一部を改正する条例」について、事務局より説明がなされた。

委員長： ただ今の説明につきまして何か質問等ご意見はございませんか。

委員： はい、ありません。

委員長集約 この問題は6月30日の総合教育会議で十分に話し合いましたので、この方向でよろしいですね。

議案第28号 多可町保育料階層区分認定取扱要領の一部を改正する告示について

議案第29号 多可町学童保育事業実施要綱の一部を改正する告示について

「多可町保育料階層区分認定取扱要領の一部を改正する告示」及び「多可町学童保育事業実施要綱の一部を改正する告示」について事務局より説明がなされた。

委員長： ただ今の説明につきまして何か質問等ご意見はございませんか。

委員長集約 よろしいですね。次の議案に移ります。

日程第4 協議

(1) 平成28年度 全国学力・学習状況調査について

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果及び考察について説明がなされた。

委員長： ただ今の説明で、確認しておきたい点はございませんか。

委員長： ひとつひとつの調査結果について具体的に話をする時間はありませんが、全体的に見て少し驚きました。私自身では少しは良くなっているかなと思っていましたので、この結果はなぜかなという思いがあります。

事務局： 全体的な傾向としましては、例えば今の中学3年生が3年前の小学6年生の時よりは少し学力は上がっています。総体的に学力は全国的に見て、どこも上がってる印象が強いです。

委員長： 茨木市教育委員会でお聞きした時も同じ説明がありました。どこの都道府県も一生懸命に力を入れているので、全体的に学力の底上げがされているということなのでしょう。

委員： 多可町は、未解答率が多いですね。

事務局： その未解答率の内容を検討すると、記述問題を解く段階になると鉛筆が止まったりして、どうも分からない問題に対しては、最後まで考えようとする力が少し弱い気がします。

委員長： 確かにこれまでもそのような傾向はありました。多可町の子どもは「もうちょっと考えてみようか」とか「こうしたらどうだろう」ではなくて、すぐに諦めてしまうような傾向があります。都市部の子どもに比べて、多可町の子どもはこういうテストに慣れてないのかもしれないですね。一つの問題をゆっくり考えすぎて時間がなくなって、最終的に最後まで解けなかったという傾向もこれまでもありました。

事務局： これ以外に、小学2年生から小学5年生と中学1年生から中学2年生までの学年に学力テストがあり、問題ごとに時間配分がしてあります。昨年度は、それをきっちり時間配分した学校と、まとめて時間をとられた学校とでは違った傾向がありました。特に小学生では、時間内でどのように割り振ったらいいのかという意識が少ないです。

教育長： 今までは中学生は全国平均よりも少し高かったのですが、今年はほぼ全国平均と同じになっています。小学生については、ここ5年間ほどは全国平均より低いので、何かを対応する必要があると校長会でも話をしています。原因は宿題の量に起因するようなことなのか、それとも別の要因があるのか判断して、学校での指導のあり方を見直すなりして発想の転換をしないと、学力は低いままだと思います。

都市部の子どもと田舎の子どもの違いだけで片付けることは、出来ないのではないかと思います。もっと厳しく学校での宿題の量を増やす、大事な学習がきちんと出来ているかをしっかりと点検をして次に進むことなどに改めないと、この学力の傾向は続くのではないかと非常に心配します。

委員： 国語の知識分野についての全国比較ですが、多可町の中学生は全国に比べて-3ですが、多可町の小学生は全国に比べて-6で、この差は小学校の勉強の仕方と中学校の勉強の仕方に問題があるのかと思います。3年間で学力が上がってるのは、中学校の勉強の仕方が功を奏しているのかもしれない。

教育長： そうですね。中学生になれば受験を控えていますので、子ども達がやる気になるのは確かですが、小学生は比較的のんびりしている状況です。しかし、全国平均までにならないのは、大きな問題です。全国平均以上になるように、学校と一緒に取り組んでいきます。

委員： この学力調査での中学3年生が、小学6年生の時の学力平均はどうでしたか。

事務局： 小学生の時は、やはり少し低い傾向にありました。

委員： そのデータももちろんあるんですね。

教育長： 例えば、去年の中学3年生が全国平均より上でも、その学年が小学6年生の時は低かったということですね。

事務局： そういうことです。

委員： それではやはり、小学校でのんびりしているということですね。

委員長： のんびり、のびのびと楽しく学校生活を送っているんですね。

教育長： 確かに楽しい学校生活を送ることができるのは大事なことです。平均より下で良しとするのは問題です。以前も問題になってましたが、平均より高い低いももちろん大事なことです。正答率が40%以下の子どもが何%で、人数は何人であるかを把握して、この子ども達のどこに学習力がついてないのか見ていきたいと考えています。平均だけを見て比較をするだけでなく、理解が不十分な子ども達の家庭

学習はどうかとか、基本的な力が不十分なら補充学習をして理解させて中学校にいかせてやるのが一番大事なことだと思います。具体的に、誰にどんな力をつけるのかということまで考えていきたいと思います。正答率40%以下の子どもが30人も40人もいるわけではありません。それぞれの学校、学年にしたら10人です。この子どもたちの学力保障を考えていきます。

委員：そうですね。先日研修に伺った茨木市の学校のように、放課後の勉強とか、残って宿題をしたり、分からないところを教えてもらうシステムがいいと思いました。

教育長：放課後に勉強の支援をしていきたいとは思いますが、現在ほとんど一斉下校になっています。かつては補習があって、ある程度の対応はできていたのですが、現在は勉強が終われば送っていかねばならなかったり、家の人に迎えにきてもらうことになりますので、非常に難しい状況になっています。

委員長：これは多可町の平均ですから、学校によっては違います。それぞれの学校では分析をしますが、対策がどこまで出来ているのでしょうか。いきなり難しいことをしなくても、自分の学校の課題にすぐに取り組める方策で計画的にやってほしいと思います。十分協議をして、何が具体的に出来るかを探るようなかたちで進めていただきたいと思います。

教育長：学力の分析委員会は、年間3回開催しています。それぞれの学校が、どんな状況で何をするかについて意見交換をしています。学校訪問に行かれた時に分かると思いますが、それぞれの学校の研究推進がありまして、それぞれの学校に伺ったときは、多可町全体ではなく自分の学校のデータをもとに学校の取組の説明を受けました。このように客観的な子どもの学力テスト結果の報告を具体的な数値をもとに話し合ったりすることが、スタート地点での目安だと思います。

事務局：学校から来ていただいている研究担当や研究主任を中心に、学校の課題を分析し、改善に向けた取組を進めていますが、すぐに結果に反映できるわけではありません。茨木市教育委員会は、各区各中学校ごとに小中連携も含めて会合していますとの話がありました。今後は会議の仕方も変えていき、担当者だけでなく管理職の校長先生、教頭先生にも参加していただいて、学力を上げるだけでなく一つ一つの課題について、共通理解を図りながらより実効性が上がるような会議を次回からすべきと考えています。

委員：教育長が言われた学年で学力が正答率40%以下の子ども達を、放課後に残して補習や勉強させるのは可能ではないですか。そのことを保護者にも相談して、遅くなれば迎えにきていただくことの手承を得て、実施してはどうですか。先生には負担がかかりますが、少人数だとそのやり方が良いのではないですか。

事務局：そのひとつの手立てが、週に1回から2回実施しています放課後がんばりタイムです。しかしながら、子どもたちにとっては、やらされているという感覚があります。子ども自身が、頑張らないといけないとか、しっかりしなければいけないと意欲を高めていけるように支援が出来れば、嬉しいし、また頑張ろうという気持ち、意欲の伸びしろをつくってやり、粘り強い取組をする手立てが出来れば良いと思います。

委員：今の状態がのんびり、のびのびで良いとは思いますが、やはり平均点くらいはと

ってほしいと思います。

委員長： しかし個々の能力は違うので、みんなが一斉に平均点をとれることは難しいですが、どの子どもも今より上にあがることを目指していただきたい。放課後に残って漢字の練習や計算の勉強などは教えやすい分野だと思いますが、その分野以外だとなかなか放課後に残して補習しても伸びるのは難しいと思います。最終的に行き着くところは、教師の力量だと思います。如何に教材に向き合わせた教え方ができるかで、ただ教える量だけではないと思います。それと授業と家庭学習をつなぐことも大事だと思います。

委員： 茨木市の教育委員会で勉強した中で、教師の年齢層や年齢によって、子ども達がどのように変わるかがよい勉強になりました。

教育長： 先生が如何にやる気になって、子どもの能力を伸ばすかが大きいですね。

委員長： そうですね、学力等を分析して本校はこのように取り組みますといっても、どれだけの先生方が自身で自覚しているかということですね。

教育長： 茨木市の教育委員会でも言われてたように、現場の先生方に十分理解をしていただいてやっていきたいと考えています。アシスタントの先生方の力も活用していきたいと思います。

委員長： たくさんの支援の先生方がいらっしゃいますので、課題のある子どもを伸ばしていただくことを期待しています。

委員長集約 全国学力・学習状況調査の結果及び考察については、これで終わります。

(2) 第2回総合教育会議について

平成29年1月に予定

・議題については、次回に再度協議

日程第5 報告事項

(1) 各種委員会の報告

*熊田委員・・・10月4日(火)

多可町行政改革推進委員会及び多可町公共施設等再配置計画作成委員会の報告

*門脇委員長・・・9月27日(火)第2次多可町総合計画策定審議委員会の報告

(2) 教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

①教育総務課関係事業の実施状況について

・八千代小学校屋外水泳プール改修工事、キッズランドやちよ遊戯室等構造梁改修工事が12月完成予定

②9月補正予算について

10月13日(木)表決

- ・多可町学校給食センター調理等業務委託の3年分債務負担行為
- ・キッズランドやちよの火災警報非常放送設備の修繕費追加
- ・教育委員会事務局費 役務費追加
- ・図書館 非常勤職員賃金追加

③多可町学校給食センター調理等業務委託の経過について

- ・10月13日(木)3社の提案書の締め切り (1社辞退)
- ・10月29日(土)第3回学校給食センター調理等業務委託業者選定委員会において、プロポーザル審査予定

④平成28年度 播磨東教育長会・播磨東地区教育委員会連合会合同研修会について

日 時：11月28日(月) 午後2時～

場 所：三木市立教育センター

研修内容：講演 京都ノートルダム女子大学

学長 芹田 健太郎 氏

演題：「グローバル人材の育成について」(予定)

⑤9月定例教育委員会要旨録について

9月定例教育委員会要旨録についての確認

委員長： 教育総務課からの報告でなにか質問等ございませんか。

事務局： 文部科学省より、11月4日のJアラートによる緊急地震速報の訓練通知がきております。各小中学校の校長先生、教頭先生にも訓練をお願いしております。実際は違う日にされるかもしれませんが、危機管理の対応もしていただいております。

【学校教育課】

①平成28年度 多可郡中学校新人体育大会について

- ・9月24日(土)開催の多可郡中学校新人体育会の結果について説明

②11月の行事予定について

- ・11月の小中学校関係の行事予定について説明

委員長： 行事予定の11月16日(水)のわくわくベルディーの内容を教えてください。

事務局： 小学校4年生を対象に、ベルディーホールで弓張美季氏のピアノコンサートの演奏会を開催します。

【こども未来課】

①保育士の募集について

- ・11月の広報たかにおいて、キッズランドやちよの保育士を2名募集する予定

②11月の行事予定について

- ・11月のこども未来課関係の行事予定について説明
 - *子ども・子育て会議について委員会閉会後の非公開会議で検討
- ・播州歌舞伎クラブのさぬき歌舞伎まつりに出演

(3) 次回教育委員会について

平成28年11月24日(木)午後1時30分～ に決定

(4) その他

委員長： その他について何か意見等ございませんか。

委員： たかテレビで放送された運動会のことで、年配の方から連絡がありお出会いしました。内容は、小学生のリレーでバトンの受け渡し方の指導ができていないということでした。リオのオリンピックでも証明されたように、バトンの受け渡し方が大事だと分かっているはずなので、先生は今の機会にきちんと教えるべきだと言われてました。

教育長： 言われてるとおりですね。きちんと基本を教えることが大事です。

事務局： 小学校から指導はしているのですが、なかなか定着しません。バトンの受け渡し方に関しては、競技形式と小学校の体育授業とでは若干違うところもあるのかもしれませんが、基本的なことは小学校でもリレーの授業がありますのできちんと教えることが大事ですね。

《非公開会議》

承認第3号 「就学援助規則準要保護の承認について」

議案第30号 「就学援助規則準要保護の認定について」

事務局より説明がなされ、承認・認定を得た。

こども未来課より「子ども・子育て会議」について経過報告

【閉会】 委員長 午後3時40分 閉会宣言

平成28年10月27日

印

印